

文 大 宇
MOON Daewoo



所属 国際学部
職名 教授
生 年 1960 年
主な担当科目 学部：朝鮮半島の政治と経済、韓国語リーディング、韓国語ライティング
大学院：NIES 研究、特別総合演習Ⅱ（韓国・台湾経済研究）
研究室 八王子キャンパス国際学部棟 431 号室
研究室電話番号（内線）4431
メールアドレス moon@ner.takushoku-u.ac.jp

最終学歴・学位論文名等・主な職歴

最終学歴 東京工業大学大学院 博士課程修了
学位 博士（東京工業大学）
学位論文 「アジア太平洋地域における産業連関構造と転換連鎖に関する研究」
主な職歴 1994年 4月（財）国際東アジア研究センター 上級研究員
1998年 4月 拓殖大学 国際開発研究所 赴任
2000年 4月 拓殖大学 国際開発学部（現、国際学部）、准教授
2006年 4月 拓殖大学 国際学部、教授

主な所属学会・協会等

アジア政経学会、国際経済学会、東アジア経済学会

主な研究分野・研究課題・研究活動

開発途上国の経済発展について研究をしています。中でも、長期にわたり高度経済成長を達成し、開発途上国の発展モデルとして注目されている東アジア諸国（NIES、ASEAN諸国、中国）が研究対象です。この地域の高度経済成長の要因である輸出志向工業化政策、海外直接投資の役割、そして、貿易と海外直接投資による東アジア地域内の相互依存関係の緊密化について研究を行っています。アジア経済の域内貿易構造と海外直接投資による著しい成長過程の分析が最近の関心事です。

主な著書・論文・作品及び学術研究関係の受賞等

単著 『台湾 東アジア長期経済統計』 勁草書房、2002年。
共著 『韓国 東アジア長期経済統計』 勁草書房、2006年。
共著 『図説中国経済（第2版）』 日本評論社、1999年。
共著 『図説アジア経済（第2版）』 日本評論社、1997年。
論文 「相互依存関係の深まる韓国と中国経済」（『国際開発学研究』 勁草書房、第10巻2号、2011年）。
論文 「東アジア経済のプレゼンス拡大と域内相互依存関係の進展」（井村進哉ほか編『アジア経済のゆくえ』 中央大学出版部、2005年）。
論文 「東アジア経済の構造変化 - 貿易・投資の力学」（渡辺利夫編『国際開発学と人間』 三五館、1998年）。
論文 “Changing Regional Economic Vitality in East Asia”, *Pacific Focus*, Vol.12, No.1, Spring 1997.

学内役職・課外活動担当クラブ等

韓国留学の相談担当教員

自己紹介・学生へのメッセージ

私が大学生の頃、「20代の君達は無数の可能性をもっている」という言葉をよく聞かれました。当時はその意味がピンとこなかったけれど、年齢が増すにつれジワジワとその意味が分かってくるようになりました。

皆さんには、大学生活を思いっきり満喫してほしいです。同時に、自分がやりたい目標もしっかりとってもらいたい。それは偉い目標じゃなくても構いません。自分が真剣になれる何かをみつけてください。青春は過ぎてみれば、短い小春日です。しかし、そこには本当に無限の可能性が眠っています。